

大谷選手に続け!

## 小学校に野球グローブが届きました

米大リーグの大谷翔平選手から贈られた野球グローブが、冬休み明け初日の1月12日に町内7つの全小学校に届き、お披露目されました。

寄贈されたのは、3つのグローブで「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」と大谷選手からのメッセージが添えられていました。

野田生小学校では、宮川高宏校長が児童たちに「大谷選手から野球をしてほしいと届きました。どんどん使ってください」と紹介し、グローブが届くのを楽しみにしていた児童たちは、担任からグローブの使い方を教わり、早速キャッチボールに挑戦しました。



ホタテを食べて応援しよう!

## 町内全小・中学校の給食で北海道産ホタテが提供されました

1月17日、町内の小・中学校でホタテを使用した給食が登場しました。

このホタテは、中国による日本産水産物の禁輸措置により、深刻な影響を受けている町内水産加工会社から町がホタテを買い取り、全国の学校給食や社員食堂に、ホタテを無償提供することで事業者を支援し、同時に北海道産ホタテの魅力为全国発信するための、町の取り組みの一環によるものです。

今回は、全国への発送に先駆け、町内の全小・中学校でホタテ養殖を紹介したイラスト入りのランチョンシートが添えられ、約1,150食分のホタテ入り中華丼が提供されました。

八雲小学校では、給食前に3年生が総合的な学習の時間として、町内の指導漁業士である、水口忠行さんと森勝行さんの協力のもと、水槽に入った生きているホタテの観察や噴火湾のホタテ養殖（耳吊り）について学習が行われました。給食の時間には、岩村町長、土井教育長らが教室を訪れ、児童と一緒に給食を味わいました。

